

まち運営会議（第85回）議事録（概要）

平成30年5月24日 18:30～20:00 自由が丘会館 3F

議長 卯月盛夫

議題

1. 自由が丘のまちづくりに関する今後の目黒区の対応について 目黒区地区整備課
2. 平成30年度の(株)ジェイ・スピリットの活動の方向性について
3. 大学との連携（東京芸術大学、東京都市大学）について
4. その他

資料

- ・自由が丘周辺地区グランドデザイン策定協議会策定メンバー等
- ・グランドデザイン検討対象区域と策定区域案（地図）
- ・次なる自由が丘へ（自由が丘駅88周年記念実行委員会）

●こんばんは。初めに目黒区都市整備部地区整備課長さんが4月に代りましたので、新しい方と前回までご出席された松本さんにご挨拶いただきます。

●新課長 原と申します。自由が丘のまちを前課長と一緒に歩いたりしました。これまでのまちの取組については大変興味深く感じております。責任をもってまちづくりの推進に当たりたいと思います。よろしく願いいたします。

●前課長 次回からは出られないと思うと寂しいのですが、このようにみなさんとお会いして、4年間育てていただいたことを感謝いたします。新しい部署は、今年度からできた「区有施設プロジェクト」で、200弱の区有施設をどうマネジメントするかに取り組めます。まずは目黒川沿いの全区施設である区民センターについて検討を始めます。自由が丘の方にもご意見を伺うこともあると思いますので、よろしく願いいたします。

●代表 多数の方にお集まりいただきありがとうございます。自由が丘は明日から3日間大きなイベントがあります。後ほど詳しく述べますが、都市再生推進法人としてのジェイ・スピリット(JS)もまち運営会議などでいろいろな方々のご意見をいただき、ソフトとハード面で種々の取組をしていく必要を感じております。では、議長さんよろしく願いいたします。

自由が丘のまちづくりに関する今後の目黒区の対応について

●議長 第85回自由が丘のまち運営会議を開催します。まず地区整備課長さんからお願いします。

●課長 平成27年度から目黒区で対応してきた「まちづくり連絡会」は5月22日に第16回を開催した。自由が丘のまちを7つのゾーンに分けて、各地区のリーダーの方々とまちづくりの動向や課題について話し合ってきた。一昨日の会では、今後のまちのコンセプトを考えるうえで、渋谷、綱島、二子玉川でのIT産業、クリエイティブ産業の動き、自由が丘の立地状況、海外の似たまちの業種や来街者の嗜好等について情報を共有した。近い将来には車の自動運転によるまちの変化等も予想され活発な意見交換があった。この連絡会は今年度で発展的解消となり、JSのグランドデザ

イン（GD）策定に活かせるように進めたい。

次に補助 127 号線の整備と一体となったまちづくりとして、区は「自由が丘駅前西及び北地区周辺まちづくり勉強会」を 29 年度に 3 回行った。その第 3 回目に、より具体的にまちづくりを進めるために、勉強会を検討会とすることが了承された。30 年度は鋭意内容の充実を図る。対象の方には第 1 回の検討会を 6 月 6 日に開催する案内を出した。今日はそのときの資料を出せないが、今後その進捗状況をお伝えしたい。127 号線沿線とその面的なまちづくりが適切であるように、その権利者が将来に向けての具体的な検討ができるように分科会を設けて、道路活用のイメージ、建築計画の手法、再開発の機運などを検討したい。127 号線は自由が丘の顔ともなるべきものなので、しっかり対応していきたい。

東地区・美観街も区はコンサルとともに再開発の支援をしてきた。こちらも継続して自由が丘全体のまちづくりの推進に結びつけたい。区のこうした取組はまち運営会議にも発信して、自由が丘のみなさんと意見交換を行い、連携を図りながら進めていきたい。

●議長 ありがとうございます。よろしく願いいたします。

●前回、西・北地区の検討会では参加者を増やすことが必要だという意見が出たが、区は今回から何か対応したか。

●課長 参加者の減少の原因はわからないが、単に勉強するという形では意味がないと思った人もいるだろう。今回から具体的な問題を検討するという形にすることで、実際にまちづくりが動くようになるか、自分の将来はどうなるかを、より密接に実感できるようにすることで参加者を増やすことになると考えている。

●議長 分科会のイメージをもう少し説明してほしい。

●課長 前の部署では補助 46 号線の整備を担当した。街区ごとに自分たちの敷地がどうなっていくかということでより興味をもち、どんな建築計画ができるかなどの方法を示すことができたが、これは分科会でないとできない。

●議長 地区をいくつかに分けての分科会か。

●課長 それもある。区が一方向的に進めるのではなく、地元の方の意見を聞いて、エリア内でより近くの方々と話し合える場をつくりたい。

●議長 各検討会が終わったら、その結果をまち運営会議に出すことは可能か。

●課長 その内容には権利者に直接関係することもある。公表に制約が生じることもあるので、区としても内容を検討してから情報提供したい。

●まちとして大事な場所なので、検討会でも全体的な視点で考えることが大事だし、まち運営会議などでいろんな方の意見をもらって進めるのがよいと思う。1-29 地区についても現状は情報の発信が少ないと思う。

●課長 この検討会では分科会だけでなく全体会も必要という意見は同感である。まち全体のことを考えてしっかり話し合っていこうというのが区の考えである。区が直接かかわらない地区の開発等についても、それが全体のまちづくりに寄与するという観点で、区として支援していきたい。JS の GD 策定と区の西・北地区の取組がしっかり連携した形で行われるよう、まち運営会議とも連携して進めていくことを区は考えている。

●議長 以前にもこの場で話したことがあるが、西・北地区の検討会の成り行きをみて、必要な時に 127 号線について集中的に検討する会を設置することもあり得ると改めて提起したい。

●都市再生推進法人には道路占用許可特例がある。JS としてオープンカフェなどでどのように道路

を使うか、設計段階から考えておくのがよい。

●議長 駅前広場の改修のときにもみんなで議論した。127号線もみんなで議論してよいものをつくれたらと思う。では次の報告事項に入ります。

平成30年度のジェイ・スピリットの活動の方向性について

●代表 JSは都市再生推進法人となり組織を見直し、自由が丘の全体的なまちづくりを推進するために調査研究事業部をつくった。ここが事務局的な役割をして、この2年間に日本交通計画協会(JTPA)の自由が丘のまちづくりに関する研究に協力する形で勉強会をしてきた。127号線の整備や1-29街区の再開発の動きも出てきた。そこでこれまでの経緯を活かして、都市再生整備計画の提案を区にすべきということで、自由が丘のグランドデザインを考える協議会をつくることになった。その対象範囲はこれまでのJSの76haの地域に加えて駅の南側の地域を含め、その世田谷区奥沢の2つの街づくり協議会の代表にも参加してもらおう。これは最大の特徴になる。目黒区と世田谷区の担当課の協力を得てJSが取り組む。JTPAに依頼し事務局的な役割を担ってもらおう。この協議会は2年間にわたり年に4回ぐらいの開催になるが、その間にいろいろな方の意見をもらいながら進める。このまち運営会議にも途中経過などを報告し、意見をいただき協議会でのGD策定作業に活かしたい。そこで、まち運営会議をほぼ毎月招集するようにして、状況を報告し、問題点を議論したい。12月を除き、場合によっては8月も除くが、第4木曜日の18時30分から開催したいので、ご協力をお願いします。次回は6月28日になります。

●議長 GDをどうイメージしたらよいか。

●代表 まちの将来像はこんな風になったらよいなということを示す。ライフスタイルの変化、踏切解消も含めた都市機能、ゾーンごとの商業などの特徴についても考えてみたい。

●議長 本格的にまちの将来像を考えてみようということか、まだ何を目的にするのかわからないところがある。

●代表 自由が丘は都市景観大賞ももらった。セットバックをした地区もあるし駅前広場も改修した。コミュニティーマート構想に沿ってある程度のところまではきたが、これから先についてももう一度考え直してみる必要がある。現在、127号線の整備、駅前の銀行ビルの建替え、1-29街区の中のビルの老朽化などの状況が生まれている。まちとしては総合的に対応したいという機運が出てきたと思う。

●GDを策定するうえでまちの課題を共有しておくことが大事である。①現状は歩行空間が貧弱であり、それに対してどういう交通体系や道路整備が必要か。127号線の整備によって歩行環境と公共交通等自動車の駅へのアクセスの改善、さらに緑を増やして自然環境の改善も考えられる。②駅周辺には老朽化した建物が散在している。これは防災上も問題である。倒壊して人的被害や火災が発生するかもしれない。また避難路を塞ぎ緊急援助活動を妨げる。それにどう対応するか。その一つとして再開発も考えられる。この2点をきちんとしておかないと、多くの来街者があるまちとしての対応が不十分ということになる。さらに各街区がそれぞれ特徴をもったものになることも賑わいの点から重要だ。課題は他にもあるが、こうした取組によって鉄道の立体化にもつなげるGDの策定でありたい。

●代表 西・北地区の検討会は地権者中心であるが、このGD策定協議会は地域内の団体やまちづくり協議会の代表で構成される。GDをよりよいものにするために、策定途中の情報をまち運営会議に出して意見をいただきたいので、開催回数を増やすということだ。

- 現在はまちのいろいろな動きや情報を全体的に把握しにくい状況にあると思う。いくつもある会議体の特徴、構成員やその目指すもの、他の会議体との関連性などを整理して1枚の紙に表現して、まちづくりの動きが誰にもわかるようにすることが大事だ。
- 代表 協議会のメンバーは固定し会議も非公開であるが、先ほども述べたように会議内容等の情報は逐次オープンにして、みなさんからいろいろな意見をいただき、それらが検討されて、GD策定に反映できるようにしていきたい。
- 議長 策定までに要する時間はどの程度か。
- 代表 2年である程度固めるが、5年ぐらいかかるかもしれない。いずれにしても目黒区と世田谷区の行政計画に反映できるような提案内容にしたい。
- 目黒区と世田谷区と一緒にやるのはすばらしい。奥沢のまちづくり協議会でも商業地の人と住宅地の人とで意見が一致しない部分も出てくるだろう。しかし情報の共有は必要である。
- 代表 協議会を進めていくと、新しい課題もでてくると思う。
- 情報共有の手段として、IT関係にも配慮してほしい。また、GD策定において、歩行者数や賑わいなどに定量的な検討や目標設定もほしい。
- 代表 そうしたい。
- 議長 先ほどまち運営会議を月1で開催したいと提案があった。次は6月28日になる。よろしくをお願いします。それでは次の議題に入ります。

大学との連携

- 代表 東京芸術大学の彫刻科と都市空間デザイン科と自由が丘との連携では、金融機関の協力を得て、まちの中に猫の彫刻と野村証券の入口のボラードにアートしたものが当初より個数を増やして置いてある。20数脚のデッサン用の小さな木製の椅子をそれぞれアートして鎖でつないだものもある。これは見方によってはつながった犬のように見える。久しぶりに自由が丘の中にアートがあるという印象だ。年末には芸大の方のアイデア、デザインをもらってのまちの装飾を考えている。
- 議長 これもホームページにアップされるか。楽しいものがあつた方がよい。次は？
- 代表 東京都市大学さんがこの数年、自由が丘のまちを研究対象にしているが、よって立つ所があるといいので、2年間の連携協定を結んだ。我々は研究教育活動に協力するというものである。平成30年度は、まちの中での子育て世代を対象にした実態調査とこれまでの自由が丘のまちづくり活動の分析をする企画がある。担当の先生が本日急な会議が入ったそうで欠席されたので、JSの担当から補足説明をしてもらいます。
- 子育て世代に関しては、まちの中で授乳室やおむつ替えスペースの利用状況、空いている、混んでいるなどをセンサーでキャッチして、即座にスマホなどでその情報が得られるようにする研究である。個人情報に抵触しないようにするなど、自由が丘側の理解と協力を得るのに手間がかかるかもしれない。工学系の先生のセンサー研究を自由が丘で応用してみるということだ。また、イベント時に仮設の授乳室やおむつ替えスペースをつくり、その利用実態を調べるといった社会実験的なものも企画している。いずれも子育て世代が自由が丘に来やすくなるような環境をつくるのに、どんなことをしたらよいかの示唆になると思われる。

自由が丘のまちづくりの分析に関しては、自由が丘新聞とかまち運営会議の議事録とかを利用して地域がこれまでどのように対応してきたか、実際にはどうなったかを分析してみたいということだ。街の人へのインタビューも考えられる。

- 議長 企画の段階でまち運営会議に出してもらったら、こんなことは協力できるよという意見も得られるかもしれない。
- 企画を担当の先生も参加するまち構造研で検討し、JSの取締役会に報告して意見をもらい、必要ならまち運営会議にも出してみなさんから意見をもらって実施することになると思う。
- 代表 いろんなセンサーがあり、プライバシーに抵触しない技術があるのだと思う。
- 議長 以上、自由が丘をフィールドにして、調査・研究・教育活動が行われるということです。その他をお願いします。

自由が丘駅 88 周年記念の取組

- 代表 昨年度、自由が丘駅 88 周年を記念する取組があり、シンポジウムもした。それらを踏まえたパンフレットができたので、その実行委員から報告してもらいます。
- 東急電鉄の藤野で実行委員の一人です。自由が丘駅は、昭和 2 年に東横線が開通したときには九品仏前駅で、2 年後の 1929 年に大井町線が開通し交差することになって、自由ヶ丘駅と改称された。昨年の 2017 年はそれから 88 年に当たるのでいろんなイベントを行った。この度、次なる 100 周年に向けて自由が丘は何ができるか、どう変わったらよいかを考えて、パンフレットをつくった。米寿にあわせて黄色を多用した。88 年の歴史、記念イベントの内容、12 月に行われたシンポジウムでの基調講演やトークショーの内容、自由が丘に何を期待するかなどのアンケート結果、そして自由が丘の課題や発展の可能性とそれらを踏まえた 8 つのビジョンを掲げている。多くのみなさんに読んでもらえるように注意してつくった。パンフレットはまだたくさんあるので、いろんな場で活用してもらいたい。
- ありがとうございます。他には？
- 理事長 先ほどの芸大の話の補足になる。昨年、田島議員のお骨折りもあり、都の広域連携イベントの補助金をもらい、盆踊りでは浅草の芸子さんも来た。自由が丘のスイーツを浅草で売った。今年のクリスマスシーズンには雷門の前の商店街と自由が丘の駅前広場をイルミネーションで明るくすることを、まだ案の段階ではあるが考えていて、そこに芸大の力を借りよう、デザインを考えしてもらおうと思っている。浅草は吾妻橋のたもとをイルミネーションで飾ることになるかもしれない。インスタ映えのする、自由が丘で行われているゴスペルも披露するなど、お互いの商店街に人が流れ、往き来することを考えている。浅草も芸大も台東区にあり、交流に関連性がある。
- 議長 みなさん、ありがとうございます。85 回のまち運営会議を終了いたします。